

脳科学と性差

～脳の男女差について科学的に考える

◆ 2020年11月24日(火)

● 午前11時10分～午後0時40分
Zoomウェビナーにて実施

◆ 講師 / 四本裕子氏

(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

◆ 参加方法 /

以下のURLまたはQRコード
から予約フォームにアクセス
し、事前登録をお願いします。



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_AceJgmXRSTGNfm1tTbGMGw

◆ 定員 / 500名

*講演会は録画し、後日、本学WebサイトやSNS等で配信する予定です。

■講演内容

「女性脳・男性脳」という言葉を聞いたことがありますか？女性は国語が得意で地図を読むのが苦手だという話や男性は数学が得意でマルチタスクが苦手だという話に根拠はあるのでしょうか？男性脳・女性脳とは、何を根拠にしているのでしょうか？そもそも脳に男女差はあるのでしょうか？性差がある場合、どのような性質のものなのでしょうか？講演では、脳の活動や構造を科学的に測定する方法や脳や認知の性差に関する研究を紹介します。そして、社会に潜むジェンダーバイアスが及ぼすさまざまな影響について議論し、科学的根拠に基づかない言説が社会に及ぼす弊害について考えます。

■講師紹介

東京大学 大学院総合文化研究科 准教授。Ph.D.(Psychology)。1998年、東京大学卒業。東京大学大学院人文社会系研究科で修士号取得後、2001年から米国マサチューセッツ州ブランドイス大学大学院に留学し、2005年、Ph.D.を取得。ボストン大学およびハーバード大学医学部附属マサチューセッツ総合病院リサーチフェロー、慶應義塾大学特任准教授を経て2012年より現職。専門は認知神経科学。

総合テーマ：
「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2020～2024年度)